



2024年5月1日発行
 公益財団法人とちぎYMCA
 〒320-0041
 宇都宮市松原2-7-42
 Tel 028-624-2546
 Fax 028-624-2489
 www.tochigiyymca.org
 発行人 / 塩澤 達俊
 編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA

YMCA News

5



心を素直に!

表紙の写真から：とちぎYMCA サマープログラムにて。

私が YMCA を知ったのは、新型コロナウイルスで大学の入学式も行われずパソコンと向いあっていた大学1年生の春のことでした。「何かボランティアをやってみよう」と思い、友だちから YMCA を教えてもらい説明会や新入生歓迎会に参加しました。1年生ではサマープログラム1つに参加して終わりました。他にも参加してみたいプログラムはあったものの「移動も大変だし今回はやめよう」と自分のやりたいという気持ちを塞いでいました。しかし、大学2年生になる春休み、小学校の先生を目指していた私にとって興味深い、小学校でのボランティアの募集がありました。時間を持って余していた私はふと「これに参加してみたい!今連絡しなかったら後悔する!」という思いから連絡をしました。これが私にとっては現在まで YMCA と関わる大きなきっかけとなりました。

それから「やるのなら全力でやりたい!」と私は野外クラブに参加し、素敵な先輩や同期、スタッフと出会い、子どもと関わることの楽しさと難しさを実感しました。最初のリーダー会や活動は今でも鮮明に覚えています。緊張していた私に優しく声をかけて教えてくれるリーダーやスタッフ、「みんなー!これ見てー!」とキラキラした目で走ってくる子どもたち、私にとっては全てが新鮮な体験でした。そこから「みんな」となり、すごいスピードで私は変わっていったように思います。

初めは、何をどのように考え行動したらよいか分からず、リーダー会でもあまり発言ができずに反省し、次は頑張る自分も考えられるようにしようということを繰り返していました。しかし、1年が過ぎるころ先輩方の卒業式を迎え私は変わらなければいけない状況になりました。今までは多くの先輩の背中を追いかけていましたが、3年生になり逆に引っ張ることが求められる立場へと変わっていました。しかし、この環境になったことがより YMCA との関わりを深め自分を変えてくれました。この頃あ

るプログラムで聞いた「子どもとリーダーとディレクターすべてが同じプログラムは存在しない」という言葉が印象に残っています。その言葉から私は後悔のないように心に素直に行動し、人との関わりやその一瞬一瞬を大切にしようと思いました。そう思いながらも思い通りにできないときもありましたが、YMCA は来ると頑張れそうという勇気をもらい、私の周りにはこんな素敵な人たちがいるんだという気持ちをくれました。そして、沢山のひとと出会える、毎回新しい自分へと成長させてくれる、ありのままの自分を認めてくれる YMCA は、私の居場所となっていました。

4月から私は小学校教諭として働き始めました。まだ分からないことだらけですが、YMCA での経験があることで少し心に余裕をもち笑顔で子どもたちの前に立つことができている。しかし、辛くなるときもあり、そんなときキャンプソングが心の支えとなってくれています。沢山の思い出が頭の中に溢れ、「あのキャンプのときも沢山の思い出が楽しかったな」「沢山の素敵な人がいたな」「今度また YMCA に遊びに行けるように頑張ろう」と自分を鼓舞できます。卒業した今だからこそ YMCA で過ごした時間はカラフルでキラキラしたものであった、YMCA で沢山の素敵な方々に出会えてよかったと心の底から思っています。

これから時代が変わっても、人との繋がりや心が温かくなった思い出はずっと残り続けると信じています。リーダーの皆さんにはぜひ、自分のやってみようと感じた心に素直になりチャレンジし続けてほしいと思います。YMCA がずっと温かく素敵な場所で、みんなのワクワクと笑顔で溢れる場所であることを祈っています。

とちぎYMCA ユースボランティアリーダー OG
 若井 優花 (みんなリーダー)

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2024年度とちぎYMCA年間聖句

《善いサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章30節~37節



認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「 2024年度が始まりました! 」



4月1日、園庭の桜の開花よりも先に2024年度がスタートし、ひよこ、りす、まあがれっと組には19名の子どもたちが入園しました。初めての園生活に子ども達はもちろん、保護者の方も緊張と不安でいっぱいだったことと思います。入園当初、小さな体で精一杯感情を表現していた子どもたち。しかし、日ごとに増えるかわいい笑顔にほっとすると共に、子どもたちのたくましさで感動する毎日です。

進級した子どもたちは新しい環境に少し戸惑いつつも、友だちや保育者と活発に遊んだり、活動に取り組んだりしながら慣れていく姿がひと回りもふた回りも大きく、頼もしく感じる毎日です。

神様に見守られながら、一人一人のペースでさくらんぼ幼稚園での生活を楽しくして行くことを祈っています。

沢山の経験を共有して成長を見守りつつ、幼稚園が安心して過ごせる場所。安心して預けられる場所。となるよう、精一杯務めてまいります。1年間どうぞよろしくお願い致します。

手塚 真理子



ようとう保育園 「 ようとう保育園 New Face! 」



うぐいす組(3歳児)担任 河野邊 真菜

うぐいす組(3歳児)担任になりました、河野邊真菜と申します。中学生の頃からの目標であった保育士になることができ、とても嬉しく感じています。

私は運動をすることが大好きなので、そのことを活かして子どもたちと一緒に体を動かし、あそびを通してたくさん関わっていきたくと思っています。また、子どもたちの興味関心にも目を向け大切に、保育を行っていきたくです。保育園は子どもたちにとって大切な時期を過ごす場所であるため、子どもたちが楽しく、安心して生活することが出来るよう信頼関係を築き、援助していきたくと思っています。

これから社会人になるにあたり、様々な物事において責任と自覚を持って仕事をしていきたいと思えます。好きなことや得意なことを伸ばしていくことはもちろん、苦手なことにもチャレンジし、社会人として立派に成長できるように、精一杯頑張っていこうと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

うぐいす組(3歳児)担任 河野邊 真菜

たんぼぼ組(1歳児)担任になりました白井涼子と申します。

積極的にコミュニケーションを図り、愛着関係を築いていくと共に、子どもたちと歌ったり、リズムあそびをしたり、私自身が大好きな音楽を通して楽しく関わっていきたくと思えます。子どもたちに、「保育園が楽しい」「明日も行きたい」と思ってもらえるように、一人ひとりのリズムに寄り添い、楽しく安全に過ごすことが出来るように努めていきたくと思えます。

また、保護者の方々にとっても信頼、安心してもらえる存在になりたいと考えています。まだ1年目ですので、至らないこともあり未熟だとは思いますが、社会人としての自覚と責任を持ち、仕事に専念していきます。先輩の先生方を見て学び、疑問点は質問し様々なことを学んでいきたくと考えています。そして、子どもたちと一緒に成長できるように頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願い致します。

たんぼぼ組(1歳児)担任 白井 涼子

たんぼぼ組(1歳児)担任 白井 涼子

親と子どもの居場所 めいめい 「 宇都宮清原クリテリウム 」



宇都宮ブリッツェンの皆さまよりご招待いただき、宇都宮清原クリテリウムを観戦してまいりました。

清原工業団地までライトラインを利用して向かいました。初めて乗車する子も多く、「初めてLRT乗る! totoraも使うんだ!」と嬉しそうに話していました。

会場に到着し、海外の選手も参加しているのを見つけると、「声かけてもいいかな?」と最初は緊張気味でしたが、近くにいた海外の選手に「ハロー」と声をかけ、目をキラキラさせながら喜んでいました。

以前めいめいに来てくださった選手もレースに参加されており、レースが開始すると大きな声で選手を応援していました。応援の際、応援グッズを作成していき子どもたちで交換しながら持っていました。自転車レースを見るのはみんな初めてで疾走感や会場の雰囲気圧迫されていました。「あんなに早く走れるのすごい!走ってみたい!」と興奮しながら話してくれました。

レース終了後に宇都宮ブリッツェンの選手と一緒に写真撮影もいただき、その日一番の笑顔が見られました。帰るときには宇都宮ブリッツェンのラッピングがしてあるライトラインに乗車し、最後まで宇都宮ブリッツェンを身近に感じることが出来る活動になりました。

袖山 千歳



子どもの家だより~ 瑞穂野北小子どもの家(瑞北めだかっこクラブ) 「 お花見昼食会 」



新入生を迎え、歓迎会を兼ねてのお花見昼食会を行いました。毎年恒例の春のお楽しみ行事です。

桜の木の下で思い思いに席を取り、お弁当を食べました。桜は三分咲きでしたが、外で食べるお弁当は格別です。

食後は草花を摘んで花束を作ったり、木の実を集めて木の実のラ

ンチを作ったりして楽しい時間を過ごしました。

1年生も、お兄さんお姉さんたちに学童での過ごし方、遊びのルールなどを教えてもらいながら新しい生活に慣れようと頑張っています。私たち支援員も家庭的な雰囲気の中で、心温まる支援ができるよう、努めていきたいです。

主任支援員 小林 紀江



宇都宮市青少年活動センター(トライ東) 「 青少年デー・登録者タイムのご案内 」

中高生・35歳未満の青少年の皆さま必見の『青少年デー』と『登録者タイム』はご存知ですか?

トライ東では、バスケやバドミントン、卓球の出来るアリーナ(体育館)やテニスコート、他にもダンスの出来る講堂や控室の貸し出しを予約なく使える時間も設けております!

■青少年デー(テニスコート、アリーナ)

中高生が優先的に利用できる!予約なし!登録証を持って、直接来館でOK!

①テニスコート:毎週水曜 【午後】13:00~17:00【夜間】17:00~21:00

②アリーナ(体育館):毎週水曜・土曜 【夜間】17:00~21:00

■登録者タイム(テニスコート、アリーナ、講堂、控室)

登録利用者が優先的に利用できる!予約なし!登録証を持って、直接来館でOK!不定期開催。

※中学生の利用は19:00まで

※テニスコート:雨天中止

※利用希望者が多い場合は1時間の交代制

※登録証:宇都宮市在住または在学・在勤の35歳未満の方対象。当日発行も可!

また、毎月最終の青少年デー開催日には、「青少年デーイベント」もご用意しております。

過去には、バスケットボール1分間フリースローチャレンジや、バドミントンで何回ラリーが出来るかなどを実施しました。仲間と記録を競い合いませんか!優勝した方には素敵なプレゼントもご用意しています。ぜひ、遊びにいらしてください。



2024 年度とちぎ YMCA イングリッシュ講師のご紹介



Jody

Hello everyone! My name is Jody Williams, but you can call me Jody! I want to be your favorite English Teacher. I am from the beautiful island of Jamaica. Jamaica is famous for Reggae music, track and field (Usain Bolt), blue water beaches and spicy food. I would love to share my culture with you, and can't wait to learn about you likewise. I am an energetic and fun-loving person. In my spare time, I enjoy singing and dancing, listening to music and doing outdoor photography and videography. I have been an English teacher for over 9 years. I have taught in Jamaica, Mexico and Japan. Let us have fun studying English together.

こんにちは! ウィリアムス・ジョーダンです。

ジョディと呼んでくださいね! 皆さんにとって「大好きな先生」になれるといいなと思います。美しい島ジャマイカ出身、レゲエ音楽に陸上競技(ウサインボルト)、青い海のビーチにスパイシーな料理で有名な国です。皆さんに私の国の文化をお伝えしたいですし、皆さんからも教えてもらえるのを楽しみにしています。元気で楽しいことが大好きな性格で、音楽を聴いたり踊ったり、野外で写真を撮ったりすることも好きです。ジャマイカ、メキシコ、日本で英語を教えて9年になりました。一緒に英語を楽しく学びましょう!

Hello everyone! I'm Lee-Anne. I'm originally from Zimbabwe, in Africa and this is my 5th year in Japan. My favorite foods in Japan include yakisoba, melon pan, sushi and black thunder (chocolate bar). My hobbies are traveling, taking instagramable pictures and trying out new restaurants. My favorite place to visit in Japan is the divine Kyoto, it's absolutely breathtaking. I'll be teaching at Higashi and Nasu YMCA. I look forward to having a great time with all my students!

みなさんこんにちは、リーアンです。アフリカのジンバブエ出身で、来日して5年目になります。好きな日本の食べ物は、やきそば、メロンパン、お寿司、ブラックサンダーです。趣味は旅行でインスタ映えする写真を撮ったり、新しいレストランを見つけたりするのが好きです。日本の好きな場所は、京都。神々しく、息を飲むほど素晴らしいですよ。今年も東と那須 YMCA で教えます。とても楽しみにしています!



Lee-Anne

Good day! My name is Ruchelyn Virtucio you can call me Chel. I'm from the Philippines, the pearl of the orient seas. I'm currently living here in Japan for 4 years. In my free time I love walking and experience the beauty of nature. I also love listening to Taylor Swift songs. I have been teaching English for 8 years now.

Teaching is my passion and that is why I can't wait to see you in my class. Come and let's have fun learning English together!

こんにちは! 私の名前は Ruchelyn Virtucio です、Chel と呼んでくださいね! フィリピン出身で、来日して4年になります。休みの日には、散歩をしたり美しい自然の中で色々な経験をするのが好きです。テイラー・スウィフトの曲を聴くのも大好きです! 英語講師としては今年で8年目、教師の仕事に情熱を持っています。そして今年も新しいクラスで皆さんに会えるのを楽しみにしています! 一緒に英語を楽しく学びましょうね!



Chel

スプリングプログラムありがとうございました。

とちぎ YMCA ではこの春、子どもたちの全人的成長を願い、スプリングプログラムを実施いたしました!

磐梯シュプールスキーキャンプ

3日間を通して、友と語り、友とスキーを楽しんでまいりました。リーダーたちが考えた今回のキャンプのテーマである「飛躍(ジャンプ)」。スキーという体験を通して、いつもの自分より一段上にジャンプできる日になればと思い、プログラムを進めてまいりました。

今回のスキーキャンプでは、技術の向上だけでなく、非日常の空間に身を置き自然体験を味わうことや、グループの仲間と協力しながら様々な価値観に触れることも大事にしていきました。



新1年生チャレンジキャンプ



キャンプ2日間の中には、子ども達にとって、たくさんのチャレンジがありました。布団を片付けたり、自分で服を用意して着替えたり、荷物を整理したり...。キャンプ生活の中にある「当たり前」も、子どもたちにとっては大きなチャレンジとなったと思います。家族のもとを離れて初めての宿泊。チャレンジし続けた子どもたちはきっと強く、たくましく、頼もしくなったと思います。ピカピカの1年生となるみんなが、小学校でもたくさんチャレンジをしてより輝いていくことを楽しみにしています!

第4回とちぎ YMCA サッカー大会

どんとボールに向かっていく子どもたちは、ゴールが決まれば、みんなで喜び、ゴール決められたら悔しがり、たくさんの気持ちをリーダーやチームメイトと共有していました。

そして、自分がこの一年間でどれだけ成長したかサッカーを通しておうちの人に届けることができました。



それぞれのプログラムは「体験のその先にある成長」をテーマに実施し、子どもたち一人ひとりがグループのメンバーやリーダーと関わる体験をしたことで、「協力する」ことの楽しさや大切さ、「人とのつながり」を持てる嬉しさ、仲間どうし「互いを認め合う」ことの大切さを心で感じる事ができた活動となっていたら幸いです。

夏休みのサマープログラムは6月から申込み開始予定です。
2024年度もとちぎ YMCA シーズンプログラムをよろしくお願いたします!

維持会員感謝

いつもとちぎYMCAの活動をお支え頂き、ありがとうございます。

日頃よりとちぎYMCAをお支えいただきまして誠にありがとうございます。
 このたびも、たくさんの皆さまにとちぎYMCA維持会費のお支えをいただきまして、あらためまして心より御礼を申し上げます。
 今年から2030年までのとちぎYMCAのVision2030は【A・B・C! : Aあたりまえのことを、Bバカにしないで、Cちゃんとやる!】です。
 YMCAの基本のキは、思いを共にしていただける方々(維持会員、参加者、賛同者のみなさま)と共に歩んでいること、言い換えますと、お関わりいただける方々おひとりお一人の思いや願いの実現に大切な人のつながりが生き生きと実感できる居場所であることです。
 たくさんの方々にご賛同いただけていることの幸せを真摯に受け止めて、ますますご期待に沿えるABCなYMCAに成れるよう一層に努めて参りますので、今後ともますますお関わりのほど、よろしくお願い申し上げます。

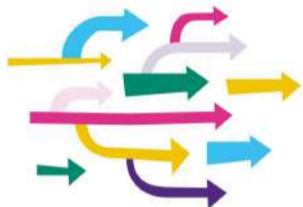
総主事 塩澤 達俊

□2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)個人(敬称略・順不同)

花田 瞳、久家 康雄、阿久津 啓司、藤田 哲夫、諏訪 治男、山崎 敦子、矢部 万紗人、大久保 知宏、鷹箸 孝、布川 武男、齋藤 仁、
 牧田 羊、増山 雄、伊澤 良則、南部 利行、粕田 晴之、宇都宮乳業(株)(代表取締役:福田隆男)、並木 信一、金田 敏雄、山田 公平、大村 洋永、田上 中、田上 徳子、久保 孝弘、五味 明美、佐藤 隆久、持田 二郎、足利市民列スズ実行委員(関谷慶太・羽山信輝)、福本 知恵子、
 山崎 敦子
 江口 健司、中村 俊幸、増山 律子、本多 哲夫、岩村建設(株)、(株)アイケーコーポレーション、種ヶ島 和洋、田巻 秀樹、大木一俊法律事務所、
 井口 美代子、谷津 行男、丸山 孝、上野 順一郎、上野 すみ子、渡部 静子、伊澤 智昭、田代 富夫、大浦 智子、伊藤 貴子、中川 哲夫、
 丹羽 芳雄、(有)高橋平版社、長谷 範子、横嶋 依里子、(株)田上財務経営センター、川上 聖子、星 紀彦、金澤 林子、石飛 雅代、鈴木 伊知郎、
 山口 俊一、岡田 孝司、中澤 堅次、里村 美奈、宮下 博行、鈴木 保江、河野 順子、田村 修也、村田 榮、原田 明子、張 ウェリ
 (MATERNA WELLI)、藤生 強、阿久津 コリ子、秋田 正人、高村 博、羽山 弘一、松本 法判、久家 康雄

□2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)法人(敬称略)

伊藤 貴子



「ポジティブネット」 Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。
 課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

月刊#(ハッシュタグ)



第35回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総主事 塩澤 達俊

#端午の節句 #だるまちゃん と てんぐちゃん #心明当流

端午の節句ですが、鯉のぼりや五月人形の兜や鎧を飾っても「ダイバーシティーのリテラシー」が一般的になったので5月5日を「男の子の日」ということは稀になりました。

ところでわたしの右踵の裏には小さなアザが生まれつきあるので、江戸末期の母方の祖先の生まれ変わりではと言われました。なんでもこの翁は日光の山奥で天狗と戦ったこともある剣術の達人だそうで、入滅の折に生まれ変わりを願う踵の裏に墨を塗ったとの言い伝えがあるのだそうです(本当かどうか分かりません)。

わたしは体育で剣道はまったく苦手でしたのでその血を継ぐ者ではないですが、この翁には「ダイバーシティーのリテラシー」について見どころがあります。



天保14年に翁が著した『心明当流万化録』には「心明当流心明剣」という新たな流派を興した理由が記されています。「(元々の流派は)いつしか秘伝と称して他流試合を禁じている。

これは武術に未熟な者の業で他流試合をしないのは臆病だからである。だから負けることを恥とせず、あらゆる流派と試合をして他から学び自流を磨くところが大切だ(漢意識)」と述べています(武道学研究 24-2(1991) 榎本論文)。

ここに「ダイバーシティーのリテラシー」のひとつである「相対化」のスキルが見られます。相対とは絶対の反対で、「これだけがゼツタイに正しい」「これでなければゼツタイにならない」という「ゼツタイ」を無しにして「これも正解かもしれないが、あれも正解かもしれない」「コレもありで、アレもありでは?」というように違いを保ったままそれぞれを両立させてゆくスキルです。

これが身に付くと、世界をよりカラフルに変え、同時に互いのかけがえのなさをお互いの違いを通じて確かなものにしてゆくことができます。200年近い伝統をもつYMCA(とちぎ約50年)ですが、日光の山奥で天狗と手合わせをする意気込みでどんどん他流試合をしてカラフルな世界を生み出してゆきたいですね。

高校生ボランティアグループ「つぼみ」



つぼみ通信 vol.13



新体制、頑張ります!



私がつぼみに入ってから1年が経ち、これまでたくさんの経験をさせて頂きました。一緒に活動をするリーダーやスタッフを始め、多くの方々に支えられてとても濃い1年を過ごせたと思います。

新年度になり、頼りであった先輩方が去っていく中、私はプログラムリーダーという立場を任せて頂くことになりました。自分にやれるのか、という不安と自分たちの代だ!という期待で胸がドキドキしていますが、私は励ましの言葉をくださる皆さんの期待に応えたいと思っています。

以前、私が担当したつぼみ通信(とちぎYMCAnews2023年11月号)で、私は「つぼみ = 私を変えてくれた場所」と書きました。今年度は「私がいみんなを変える場所」にしたいと思っています。みんなが笑顔に、楽しく、そして何よりやる気溢れるつぼみをこれからも作ってまいります。皆さん、お力添えをお願いします!

宇都宮北高校2年 本多 葵衣(ほんほん)